

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会福祉審議会第39回(令和3年度第1回)高齢者福祉等専門分科会				
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進課 電話042-769-9222(直通)				
開催日時		令和3年11月15日(月) 10時00分~12時00分				
開催場所		相模原市立総合学習センター 2階 セミナールーム				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	10人(地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長、福祉基盤課長、高齢・障害者福祉課長、高齢・障害者支援課長、津久井保健福祉課長、在宅医療・介護連携支援センター所長、外3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		(1) 専門分科会長の選出について (2) 職務代理者の指名について (3) 第7期相模原市高齢者保健福祉計画の進捗状況について (4) 高齢者福祉施策の見直しについて (5) その他				

議 事 の 要 旨

(1) 専門分科会長の選出について

専門分科会長の選出について、事務局より説明を行った。

(牛尾委員) 地域福祉の中核的役割を担っていただいている相模原市社会福祉協議会の笹野委員に専門分科会長をお願いしたい。

(事務局) 他にご意見はあるか。

ご意見がないようなので、笹野委員をお願いすることでよろしいか。各委員賛成により、専門分科会長は笹野委員(以下「会長」という。)に決定した。

(2) 職務代理者の指名

職務代理者の指名について、事務局より説明を行った。

(会長) 本審議会条例の規定により、職務代理者は会長が指名することになっているため、指名させていただく。

介護サービス事業所の運営をしている立場から、高齢者福祉施設協議会の阿部委員に職務代理者をお願いしたい。

(3) 第 7 期相模原市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

第 7 期相模原市高齢者保健福祉計画の指標達成状況とともに、第 8 期相模原市高齢者保健福祉計画の指標について、事務局より説明を行った。

(羽田委員) 指標の達成状況について、割合(%)で表示されているものがあるが、どういった調査で把握しているのか。

(事務局) 3年に1度実施している高齢者実態調査や市総合計画に係る市民アンケート調査の結果である。

(大貫委員) 指標の達成状況欄の○と△の違いを教えてほしい。

(事務局) ○は達成しているもの、△は達成できていないが進捗は図れているものである。

(牛尾委員) 認知症サポーターによる効果的な取組はどういったものか。

(事務局) 認知症サポーターになったから特別な活動を行うということではないが、認知症の方やご家族が地域で安心して生活できるよう、見守りやお話を聞くなど、寄り添った支援をできる範囲で行っていただいている。

(相澤委員) 第 8 期計画の指標において、高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合の増加が掲げられているが、具体的なニーズは把握されているか。

(事務局) ひとり暮らしの高齢者の増加が今後も見込まれることから指標を設定した。

(羽田委員) 孤独死などのニュースが報道されているが、こういったことにより民間住宅に入りづらいといった声も聞く。この課題についてはどう考えているか。

(事務局) 市や不動産団体等と連携した居住支援協議会により、そういった課題を解決するための検討を進めている。

(会長) 市社会福祉協議会も一緒に、高齢者だけでなく障害者等も含めた課題として捉え、解決に向けて取り組んでいる。

(大貫委員) いきいき百歳体操の取組による介護予防につながるような具体的な効果はあるのか。

(事務局) コロナ禍での中断はあるが、体操の実施団体に定期的に訪問し、参加者の状態を測定しており、筋力は確実にアップしている。例えば、幅の広い道路の横断歩道を速く渡れるようになったなどの目に見える効果がある。また、毎週集まって体操の後に茶話会等を行っているグループもあり、社会参加につながっている効果もある。

(大貫委員) 第8期計画の指標「介護人材の不足感」の表記について、この指標だけ割合が下がることが目標になっていると思うが、他の項目は割合が上がるのが目標となっているので、揃えることはできないか。

(事務局) 次期計画策定に当たっては、表記について検討する。

(島森委員) 第8期計画の指標「介護人材の不足感」について、割合1%減少の目標は少ないと感じる。高齢者福祉だけでなく障害者福祉等も含め、人材不足の解消は重要なことであるので積極的に図られたい。

(事務局) 市としてもしっかり取り組んでいきたいと考えている。

(梶川委員) 計画の指標を示し、こうしてアウトカムの視点で説明されていることや、住宅と福祉の連携といった分野を横断した取組は評価できるものである。

(会長) 資料の示し方により、本日のような活発な議論がされると思うので、次回以降の会議開催に当たっても、皆さんで色々な視点から良い意見交換ができればと思う。

(4) 高齢者福祉施策の見直しについて

第8期相模原市高齢者保健福祉計画の概要及び高齢者福祉施策の見直しについて、事務局より説明を行った。

(羽田委員) 今回の見直しでは、行財政構造改革プランを踏まえとなっているが、必要な人に必要な福祉施策をという視点に立ち、財政的に後退のないよう願います。

第8期計画における重点取組事項の介護予防・健康づくりの取組に

において、「ボランティア活動や就労的活動による高齢者の社会参加の促進」となっているが、こういった取組を行うのか。

今回の見直しの新規事業である地域の包括的な支援体制づくりの検討における「包括的相談支援事業」「多機関協働事業」「地域のプラットフォームの形成」とはどのようなものか教えてほしい。

(事務局) 最初の要望については、財政的な面で課題はあるが、従来の施策を見直して必要な施策への展開を図っていく。

ボランティア活動等による高齢者の社会参加については、市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会等と連携し、地域福祉ネットワーク事業の充実などに取り組んでいきたいと考えている。

包括的相談支援事業とは、高齢者・障害者・児童・生活困窮者の制度の縦割りをなくし、連携して相談支援を行っていくものである。多機関協働事業とは、市だけでなく外部の様々な機関と連携しながら、従来の取組の整理や新たなつながりを作っていくものである。地域のプラットフォームの形成とは、市社会福祉協議会等と連携しながら、地域でも包括的な視点で支援できるよう、複合化・複雑化した課題がある世帯への対応をよりスムーズにできるような土台を構築していくものである。

(会長) ボランティア活動等による高齢者の社会参加は重要な取組であり、市社会福祉協議会としても市やボランティア協会等とも連携しながら取り組んでいく。

(大貫委員) 民生委員の活動をする中で相談したい場合の窓口が、分野によってばらばらな状況であるため、説明にあったような包括的な相談支援の体制により窓口の一元化を図ってほしい。

敬老祝金の廃止について、これからの超高齢社会を考えると賛成であり、個別給付から社会全体への施策が良いと思うが、市民に対する丁寧な説明は行っていただきたい。

(事務局) 敬老祝金については廃止の方向性で考えているが、他の方法による敬老事業の展開を検討している。また、市民への丁寧な対応についても併せて検討する。

(牛尾委員) 敬老祝金の廃止について、一部の市民からは抵抗があると思うが、近年の高齢者福祉の状況を踏まえ、必要な施策に必要な資金を使うといった丁寧な説明や、充実する施策と併せて市民に示すことが重要である。また、支え手不足は今後も続くことが見込まれることから、ITの活用の検討・モデル事業への予算活用といった施策も検討いただくなど、今後の展開のより見える化をしてほしい。他都市と

の比較などもあると良いだろう。

(事務局) 参考に敬老祝金の政令市の実施状況であるが、9市で実施、11市で未実施である。また、今後の地域への説明に当たっては、充実する施策も含めて説明するなど、説明内容については委員のご意見を参考に考えていく。

(島森委員) ダブルケアなどの問題では、行政で様々な支援を行っているが、例えば、高齢も障害も子どももどれについても課題がある世帯の場合、支援者としては、どこに相談すればよいか迷うことがある。連携を図り包括的な支援がされることはよいと考えているが、相談する窓口などについて市民へ分かりやすい周知をしてほしい。

(事務局) ご意見でいただいた点も含めて取組を進める。

(梶川委員) 情報提供として、支援において家族中心の考え方である日本では、世帯の課題が表面化してきたときには手遅れとなっている場合があるようで、中高年のひきこもりなどが例として挙げられる。これからの地域共生を考えていくうえでは、早めに支援につなげることが大事である。

(事務局) 市では、数年前(平成30年度)からひきこもり支援ステーションを設置し、ひきこもり状態にある方への支援を行っている。こうした分野を含めて、多分野連携について包括的な支援の取組を進めていきたい。

(5) その他

(事務局) 次回の本専門分科会の開催は、令和4年2月を予定している。

相模原市社会福祉審議会高齢者福祉等専門分科会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	相澤 由美	相模原人権擁護委員協議会		出席
2	阿部 匡秀	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	職務代理者	出席
3	石黒 雄彦	相模原市老人クラブ連合会		出席
4	牛尾 良一	相模原市自治会連合会		出席
5	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
6	梶川 義人	日本虐待防止研究・研修センター		出席
7	笹野 章央	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	会長	出席
8	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会		欠席
9	島森 政子	特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
10	田中 雄一郎	相模原市歯科医師会		欠席
11	羽田 彌	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会		出席
12	町田 謙治	相模原公共職業安定所		欠席

(敬称略、50音順)